

第3次千葉県青少年総合プラン 令和2年度事業評価シート

事業NO	49-1
------	------

事業名	子ども・若者育成支援推進事業(協議会)		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2288

1 事業の概要

柱	Ⅱ	基本目標	3	基本方策	⑤総合的な相談・支援体制の整備					
事業内容	ニート・ひきこもり・不登校など社会生活を円滑に営む上で困難を有する子どもや若者に対して、効果的かつ円滑な支援を実施するため、「千葉県子ども・若者支援協議会」を設置し、各機関の取組の情報交換や支援の充実に向けた検討を行う。									
当初予算額(千円)	H30年度	275	R元年度	275	R2年度	275	R3年度	275	R4年度	
決算額(千円)		141		136		29				
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○		○		○			

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

・代表者会議を1回、実務者会議を1回実施した。
 ・人材育成研修では、NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば 平田氏による「不登校・ひきこもりの理解と支援」及び千葉県不登校児童生徒支援チーム 難波江氏・川島氏による「不登校児童生徒への支援」をテーマにした講演等をZoomによりオンライン会議により行った。

(2)事業の成果

・実務者会議では、コロナ禍により対面での会議を書面に変更したり、大人数が集まる検討会を中止した現状をもとに、各構成機関でのコロナ禍における事業展開について意見交換し、書面による情報共有を行った。
 ・人材育成研修では、コロナ禍により2日間のオンライン開催を行った。初めてZoomを使用する機関への支援や参加のしやすい日程での開催をしたことから、市町村、学校関係者、支援機関等から過去最多となる延べ116名が参加し、不登校・ひきこもり支援の講演を受けた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・引き続き、千葉県子ども・若者支援協議会を運営し、社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者への支援の充実のための検討や人材育成研修を実施する。
 ・今年度の同協議会では、委員会等にて協議会の見直しや新たな子ども・若者育成支援推進大綱への検討を行う予定である。
 ・人材育成研修については、県内の行政機関・学校・民間団体において子ども・若者の支援や相談業務に携わっている方を対象に、令和2年度に希望の高かったオンラインと実地での両方で開催する予定である。

○参考

関連指標	目標					
	基準年	H30	R1	R2	R3	R4

4 委員意見

5 担当課回答

--	--

第3次千葉県青少年総合プラン 令和2年度事業評価シート

		事業NO	49-2
事業名	子ども・若者育成支援推進事業(総合相談センター)		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2288

1 事業の概要

柱	Ⅱ	基本目標	3	基本方策	⑤総合的な相談・支援体制の整備					
事業内容	千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」を運営し、ニート・ひきこもり・不登校など子ども・若者(概ね39歳まで)及びその家族等からの様々な悩みを、専門の相談員が聞き、助言や必要な情報の提供、適切な支援機関の紹介を行う。									
当初予算額(千円)	H30年度	16,015	R元年度	15,975	R2年度	15,975	R3年度	15,942	R4年度	
決算額(千円)		15,606		15,784		15,831				
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○		○		○			

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

・令和2年度は、千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」において2,201件の相談に対応した。(うち、240件が面接相談。)
 ・保護者向け勉強会(年3回)を行った。関係機関向け連携会議はコロナ禍のため開催を見送った。
 ・千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」を紹介するためのリーフレット20,000部、ポスター2,000部を作成した。また、県内の支援機関を広く紹介するリーフレットを18,000部を作成した。

(2)事業の成果

・コロナ禍により、総相談数は昨年より増加しているが、面接相談数は大幅に減少した。
 ・保護者向け勉強会ではコロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、各テーマに沿って保護者が子どもとの関わり方を学ぶ機会を提供した。
 ・リーフレット等の作成については、市町村や学校、医療機関等のほか各種研修会等で配付し、教職員や関係機関に対し当センターの周知を図った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・電話相談及び面接相談、支援プログラムについて、効果的に実施するとともに、保護者向けの勉強会や関係機関向け連携会議を引き続き実施し、子ども・若者が新たな一歩を確実に踏み出せるよう支援する。
 ・今年度からオンラインでの相談を導入した。このコロナ禍においても継続して相談支援ができることにより、相談者への切れ目の無い支援を行うことができる。

○参考

関連指標	[総合的な相談・支援体制の整備] 千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」における相談件数					目標	増加を目指します (潜在的なニーズの掘り起こしを継続的に実施)
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	
	総相談件数 733件 うち面接相談件数 0件	総相談件数 1,313件 うち面接相談件数 238件	相談件数 1,079件 うち面接相談件数 241件	相談件数 1,850件 うち面接相談件数 385件	相談件数 2,201件 うち面接相談件数 240件		

4 委員意見

5 担当課回答

--	--